

Title	編集後記
Sub Title	
Author	
Publisher	三田哲學會
Publication year	2007
Jtitle	哲學 No.117 (2007. 3) ,p.267- 267
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000117-0267

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

「特集：記憶の社会学」をお届けします。10人の社会学者が、ふつう心理学の領分と考えられている「記憶」というテーマに取り組んだ異色の特集となりました。私たちが記憶というテーマに取り組んだのは、他人の領分などおかまいなしに、どこにでも凶々しく顔をつっこむ、あの悪名高い社会学の帝国主義的本性のせいばかりではありません。むしろ現在のうちに保存されている過去の重要性を、社会学がこれまで軽視してきたことの反省にもとづくものです。社会学は現在における人々の意識と行動を研究するところに強みを発揮してきましたが、過去もまた現在を構成する一部分であり、現在における意識と行動を理解するためには、現在のうちに保存されている過去を理解することが必要であることに、社会学はいま気づきつつあると言ってもよいでしょう。そして、過去を現在のうちに保存する働きを、心理学に敬意を表して「記憶」と呼んでいるのです。もちろん、心理学と社会学では、それぞれが目する過去の保存の仕方は異なります。心理学では過去は脳の中に保存されるものと考えられていますが、この特集をお読みいただければわかるように、社会学は写真・映画・マンガ・小説・流行歌・テレビ番組・記念碑・町並み・会話などのうちに過去は保存されていると考えています。社会学はこれらの物質・空間・メディアの配置とそれらをめぐる人々の活動の編成を通して記憶を研究し

ようとするのだと言えるでしょう。

いま田町駅から大学までのあいだの商店街ではおもしろい現象が進行中です。商店街がどんどん古くなりつつあるのです。店が入れ替わるたびに、コンクリート壁だったところが板張りの壁に変わり、自動扉だったところがガラスの引き戸に変わり、はては椅子があったところから、椅子が取り払われて、立ち飲みの店に変わったりしています。どんどん昭和に戻りつつあるのです。もちろん昭和の町並みがそのまま復元されつつあるというわけではありません。あくまでもいまから振り返って見た昭和の商店街のイメージになりつつあるというだけです。この例は、過去の「保存」が文字通り過去をそのまま残して保存する場合だけではなく、過去を「再構成」する、あるいは場合によっては過去を「捏造」する場合さえ含むことを示しています。しかし、たとえ再構成され捏造された過去であっても、それらはやはり現在を構成する一部分であり、現在における人々の意識と行動を象徴するとともに、またそれに影響を与えています。したがって、社会学は現在における人々の意識と行動を理解するために、そのような再構成され捏造された過去もまた考察の対象とするのです。

記憶というフィールドは広大な未開拓の領域です。この特集がこのフィールドの開拓の一里塚となることを期待しています。
(浜 日出夫)